

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成28年度第2回西脇市ふるさと経営推進市民会議
開催日時	平成29年3月3日（金） 午後7時00分～午後9時00分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター 3階
出席委員の氏名又は人数	7名
欠席委員の氏名又は人数	3名
出席職員の職・氏名又は人数	オブザーバー2名、事務局9名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	2名
議題又は協議事項	1 自治基本条例の推進に向けた取組について 2 平成29年度主要事業について 3 総合計画の推進状況について
会議の記録（概要）	
発言者	<p>（開会）</p> <p>（あいさつ） お忙しい中、御出席いただき感謝申し上げます。本日もぜひ忌憚のない御意見をお願いしたい。</p> <p>（あいさつ） 前は出席できず失礼した。今回の会議では、総合計画の中間評価についてもお聞かせいただけたこと、楽しみにしている。</p> <p>（自治基本条例に関する事項） 自治基本条例の推進に向けた取組について 会議資料1に基づき、事務局から説明</p>
事務局	
西脇市長	
中川名誉教授	
事務局	

<p>委 員</p>	<p>地域自治協議会の取組については、手探りの状態ではあるが、より良い地区になるよう努力していきたいと考えている。</p>
<p>中川名誉 教授</p>	<p>「参画と協働」の推進においては、「情報の公開」ではなく「情報の共有」を念頭に置いてほしい。パブリック・コメントなどの制度を上手く活用し、より多くの市民が政策形成のプロセスに参画できるようにしていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>(総合計画に関する事項) 平成29年度主要事業について 会議資料2に基づき、事務局から説明</p>
<p>委 員</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「JR鍛冶屋線跡地道路整備事業」において、埋蔵文化財の調査を実施することとなっているが、具体的にどのような文化財の出土を想定しているのか。 2 公共交通に関する事業に係る「まちづくり指標」で、「買物や通院・通学の移動に困っている市民の割合」の方向性が下向きになっているのはなぜか。 3 「シティプロモーション推進事業」において、西脇市を全国に向けて発信していくプランはあるのか。 4 一般会計予算額における「その他」の内訳をお聞きしたい。
<p>事務局</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 特に想定はないが、特定の地域で道路整備を行う際には、埋蔵文化財の調査を実施することとなっている。そのため、本事業においても調査を実施することとしている。 2 「まちづくり指標」は、平成30年度に向けて目指す方向性を矢印の向きで示すものである。この項目においては、移動手段に困っている市民の割合を下げることが目標としているため、方向性は下向きとなっている。 3 平成29年度は、主に市民の方々の「シビックプライド（まちに対する市民の誇り）」を高める取組を行っていく。全国に向けた発信については、その後の課題であると認識している。 4 歳入の「その他」の内訳のうち、最も額が大きい項目は「繰入金」である。「繰入金」の大半は財政調整基金

	<p>からの繰入れであり、市の貯金を取り崩して予算を組んでいる状況である。</p> <p>また、歳出の「その他」の内訳のうち、最も額が大きい項目は、特別会計への「繰出金」である。その次に額が大きい項目は、借金の返済に充てられる「公債費」である。</p>
委員	<p>私の近所でも空き家が増えてきている。ぜひ空き家対策を進めていただきたい。</p>
事務局	<p>環境面・防災面で問題のある特定空家等については、除却等の対応を行っていく。一方で、状態が良い空き家については、改修を支援するなどして利活用を促進していく。</p>
委員	<p>「西脇市に住み続けたいと思う市民の割合」が平成24年度と比較して低下している。原因を分析し、対策する必要があるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>御指摘のとおり、年々少しずつ低下しており、対策が必要だと考えている。短期間で解決できる問題ではないが、西脇市に住むことに対する誇りを高める取組を継続して行っていきたいと考えている。</p>
委員	<p>各事業においてもっと具体策を示してほしい。例えば、「移住支援事業」では、どのようなターゲットにどのような支援をしていくのか、もっと具体的に検討すべきである。</p>
事務局	<p>西脇市では、魅力ある仕事を通じて若者を呼び込みたいと考えている。例えば、「西脇ファッション都市構想」では、播州織の若手デザイナーの移住を促進している。</p> <p>また、移住者が安心して暮らせるよう、移住者のネットワークづくりを行っていくほか、空き家活用のモデルケースとなるような事例も早期に示したいと考えている。</p>
西脇市長	<p>移住の促進に当たっては、西脇市の強みを十分生かす必要がある。現在、11名の若手デザイナーが市内事業所で研修を積んでおり、来年度も数名増える予定である。</p> <p>農業では、イチゴの特産化を目指しているが、数年前ま</p>

<p>中川名誉教授</p>	<p>で1件であったイチゴ農家が、来年度は5件に増える見通しとなっている。</p> <p>また、若い移住者が空き家を借り、アトリエとして活用している事例がある。これらの良い事例について、もっとPRしていきたいと考えている。</p> <p>「まちづくり指標」の数値が低下している項目がいくつか見受けられる。悲観的になる必要はないが、十分警戒しておくべきである。</p> <p>「地域資源を生かした取組が進み、交流が活発になってきていると感じる市民の割合」は、平成24年度と比較して10パーセント以上増えている。市民のエネルギーを感じることができるデータである。</p> <p>市民がシビックプライドを持てるよう、特に子どもたちに対して西脇市の魅力を伝えていく必要がある。そのような取組を続けていくと、市のPRをしてくれたり、将来的なUターンにつながったりする。</p> <p>財政面では、健全な経営をされていると思う。ただ、扶助費や補助費は微増となっており、財政硬直化の要因を内包している。今後の予算編成においては、これまで以上に「選択と集中」が求められている。</p> <p>各地域では高齢化が進んでいるが、高齢者も貴重な人材である。高齢化に悲観してばかりではいけない。</p>
<p>事務局</p>	<p>(総合計画に関する事項)</p> <p>総合計画の推進状況について 会議資料3に基づき、事務局から説明</p>
<p>委員</p>	<p>政策指標の推移を見ると、平成26年度の数値が低くなっている項目が多いように見受けられるが、原因は分析されているか。また、活動評価及び成果評価について、第三者による評価は行われているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>平成26年度の現象については、詳細な分析はできていない。また、活動評価及び成果評価については、現状では担当部署による評価をベースにしている。第三者評価の実施については、今後の課題である。</p>
<p>委員</p>	<p>資料1の内容であるが、「審議会等の状況調査一覧表」</p>

<p>事務局</p> <p>中川名誉教授</p> <p>西脇市長</p> <p>事務局</p>	<p>の中で、「未開催」となっている会議があるのはなぜか。</p> <p>調査時点が平成29年1月であり、調査時点以降に開催予定であったものについては「未開催」としている。</p> <p>現行の総合計画を策定した際は、「まちづくり指標」を設定して政策・施策の成果を数値で測ることについて、市から強い反対を受けた。しかし、総合計画が「絵に描いた餅」にならないよう、数値で成果を測ることは不可欠であり、今ではどこの自治体でも総合計画に成果指標を組み込んでいる。今回の中間評価の内容を基に、より良い第2次総合計画ができると信じている。</p> <p>西脇市の人件費は、近隣市と比較しても低く抑えられている。職員の生産性を高め、本当に必要な事業に予算を使えるよう、工夫を続けていく。</p> <p>シビックプライドを高める取組について、本年度は全小中学校に出向き、自ら授業を行ってきた。来年度は、シティプロモーション推進事業の中で新たに完成した西脇市の歌を、小中学生にぜひ聞かせたい。そして、将来の成人式でぜひ歌ってほしい。そのような長期的な取組により、シビックプライドを醸成したいと考えている。</p> <p>(事務連絡)</p> <p>委員の皆さまには、2年間という任期中、多くの貴重な御意見をいただき感謝申し上げます。</p> <p>第2次総合計画の策定に当たっては、来年度から開催を予定している「総合計画審議会」の委員を公募している。ぜひご協力をいただきたい。</p> <p>(閉会)</p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市都市経営部次世代創生課</p> <p>TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>